ひだご坊真宗教化センターだより　2025年10月号

Shinran 750th 800th

〈慶讃テーマ〉
南無阿弥陀仏
人と生まれたことの意味をたずねていこう

発行日:2025(令和7)年9月24日　第63号　発行者:飛騨御坊真宗教化センター長・高山別院輪番　三島多聞

高山市鉄砲町６　TEL 0577-32-0776　web http://hidagobo.jp　✉ takayama@higashihonganji.or.jp

ご坊さまの蔵の中で…　飛騨真宗史史料管理の充実を

－各御寺院の歴史や現在の事業に関する史料を別院にお寄せください－

嘉念坊善俊上人の御法要に向けて、すでに三島多聞輪番は動き始めています。６月から本堂裏の蔵の中の整理を始め、９月中にひとまず完了したとのことです。そこで、今月号は、輪番が蔵の闇の中で考えたことをお伝えいたします。別院もさりながら、各ご寺院の史料の別院管理も考えていかなければいけないということです。

■ご坊の歴史史料･法宝物のこと回顧

小生、小学１～２年生頃の記憶に、ご坊火災（昭和２２年４月）後の、放水で土壁が無惨にもくずれていた“ご坊さまの蔵”があった。今も小生の脳裏に焼き付いている。ご坊さまの蔵にまで火が入ったのだろうか。当時の郷土史研究をしておられた住職方が収集していた古文書を、戦時中ということもあってか、本堂裏・廊下に一時的に積み重ねてあったのが火災で焼失してしまったと側聞している。それでも、火災から逃れた古文書や輪番日記がいくばくかは残っている。

昭和１１年に『飛騨真宗史編纂所報』第１号（冊子）が発行された。編輯兼発行人は三枝善研氏（隨縁寺）で、第９号まで発行されている。その第９号に「飛騨真宗史年表」を加えて１冊の書籍になっている。今にして極めて貴重な資料である。別院の火災では、多くの法宝物や歴史史料が焼失している。又、火事場泥棒もあったと考えられる。ある公的な場所で、「輪番日記」を見たことがある。

戦時中、別院の法宝物は、大新町の吉島家の蔵に避難させてもらっていた。小生、小学５～６年生の頃、当時の不遠寺住職、四衢晃雄氏にカレーライスを食べさせてやるからと言われ、子ども５～６人で吉島家の蔵から法宝物をリヤカーで運び、別院で虫干しをし、終ってから吉島家の蔵に収めに行った記憶がある。法宝物搬入搬出の手伝いである。ふと蔵の中で、懐かしく思い出された。

整理整頓された高山別院の蔵

■飛騨真宗史に関する書籍の刊行

昭和５２年頃、別院には仏青が二つあった。一つは在家仏教青年の会、もう一つは寺族仏教青年会。後者は飛騨の真宗史、すなわちご坊照蓮寺の歴史を学ぶことに決め、郷土史家の岩井正尾先生を講師に毎月講義を受けた。

約２年半ほど経ったところで、仏青のメンバーよりも岩井先生の方が燃えあがり、「史書」編纂の機運が開かれ、昭和５４年「高山別院史刊行委員会」が発足した。主任には岩井正尾先生、委員に白川正中氏（願生寺）と小生の３人で編纂に取りかかった。「高山別院史」上巻・下巻・史料編が６年をかけて完成した。先生の原稿を白川氏が編集し、小生は戦時下の飛騨の真宗について担当した。しかし、下巻の頁数が多くなり過ぎるのでカットされた。

昭和６０年、「飛騨真宗発祥７００年・飛騨御坊創建４００年」を記念し一年を通して催事を行った。その時、「嘉念坊善俊上人」の石碑を建立している。数年後、「嘉念坊善俊上人顕彰会」が発足され、平成元年には、岩井先生著『嘉念坊善俊上人―念仏の伝流』が発刊された。蓮如上人の御遠忌に向けては、三本昌之氏、竹田雅文氏を中心に、図録『飛騨と蓮如上人』が発刊された。

これらの書籍は“ご坊さまの蔵”に納まっている。多くの史料紛失の中、上記の書籍が発刊されてきたことの意義は大きく、飛騨真宗史において第一級史料としての位置を占めている。

■各御寺院の史料を別院にお寄せください

今、私は輪番の責任として、気になっていた蔵の収蔵品の整理を行っている。以前にも蔵の整理をしたことがあるし、毎年の虫干の時にも整理を行ってきた。そこで気づいたことが幾つかある、その一つに飛騨一円を代表するご坊さまなのに、崇敬寺院の記録になるものが無いことである。そこで各ご寺院に次のお願いをする次第である。

各寺院の宗祖の御遠忌の記録、あるいは、寺史の出版物があれば是非寄贈していただきたい。写真でも、差定でも、パンフレットでも（コピー可）、寺院の歴史に関わるものであれば何でも結構です。又、チラシや寺報など、催事に関する特集号があれば是非！ご坊に関する各法要での記念になっているものがあれば是非お願いしたい。「崇敬寺院史料」として保管し、今後の歴史研究の貴重な史料としたい。

追文…各寺の歴史は、多くは古い時代の記事で終わっています。ここで提案があります。明治から現代までの自坊の歴史を調べ文章化するという企画です。嘉念坊善俊上人７５０回忌法要までに５～６年あります。是非取り組んでいただきたい。記念本の発刊も夢ではない。

高山別院輪番
飛騨御坊真宗教化センター長
三島　多聞

★センター・別院からのお知らせ★

秋、報恩講に向けての同朋唱和推進事業

「声明儀式作法研修」開催　　3回開催、全て夜です　　育成部会

今年度の声明儀式作法研修会は、平生のお勤めや作法をテーマに開催いたします。

同朋唱和の推進のため、先ず僧侶･寺族が学ぶ場とするとともに、企画会議懇談会での問題提起を受け、兼職者でも参加いただきやすいよう、夜間の開催といたします。

日　時　10月7日(火)･17日(金)･28日(火)　全3回　開催時間は、19時～21時
※兼職者の方の参加も鑑み、夜間の開催を予定しております。

会　場　　高山別院　御坊会館

講　師　　窪田　純　氏（育成部会幹事・高山２組圓徳寺住職）

内　容　　①正信偈の読法（草四句目下、真読、中読)、
念仏讃三淘（弥陀成仏のこのかたは　次第六首)、回向。
②同朋奉讃、よく読まれるご和讃（ご法事、中陰、報恩講)。
③伽陀、御文、前２回で出た質疑に対する応答。

詳細は、各寺院に送付の募集要項をご参照ください。

第1回真宗公開講座　10月1日(水）14時～　　伝道部会･一組真宗の会

報恩講御和讃を学ぶ②　同朋唱和練習を兼ねて

今年度も、真宗公開講座が開催されます。第１回目は、別院報恩講を１か月後に控え、昨年と同様、報恩講和讃についてのお話と、お勤め練習を行います。

講　師　四衢　亮氏（高山１組不遠寺）・三島大遵氏（高山１組真蓮寺）

『是旃陀羅問題学習テキスト　御同朋を生きる』輪読会

【高山地区「是旃陀羅」問題に取り組む実行委員会主催】

標記輪読会の第１回を、下記のとおり開催いたします。兼職者の参加を促進するため、日中と夜の２回開催いたします。なお、輪読会は年度内に４回の開催を予定いたしております。

日　時　10月3日(金)　①１４～１６時　②１９～２１時

会　場　別院会館 2F 研修室　　輪読範囲　「はじめに」・第１章

別院おみがき奉仕研修会　　高山別院･育成部会

昨年は、全飛組門徒会研修として実施されましたが、今年は門徒会員に限らず多くの方々にご参加いただければと思い開催いたします。別院の報恩講準備に多くの方にご参加いただくとともに、別院の歴史を学ぶ学習の場にもしてまいりたいと思います。

日　時　10月23日(木)　９時３０分～１１時３０分

会　場　別院本堂　　対　象　各寺組門徒会員、参加を希望される方

申し込み締め切り　１０月６日（月）

高山別院報恩講「帰敬式」受式者募集中

申請締め切り【10月3日まで】
必ず法名をご記入いただき、冥加金を添えて申請ください。

飛騨御坊 HP『ひだご坊一口法話』10 月　帰雲真智氏（高山２組還來寺住職）　澤邉　都氏（高山２組誓願寺坊守）

報恩講チラシ訂正　慶満⇒慶讃　訂正しお詫びいたします。

《新連載》 「同朋会運動」としてのハンセン病問題 －謝罪から共なる解放へ―

2024 年 9 月 9 日、教区解放運動推進協議会主催で開催　講義及び対談の抄録を連載します

■真宗大谷派ハンセン病問題全国交流集会 高山大会開催を思いおこして

昨年の 9 月 9 日、公開学習会《「同朋会運動」としてのハンセン病問題－謝罪から共なる解放へ―》が、訓覇浩氏（三重教区金藏寺住職・元真宗大谷派解放運動推進本部本部員）を講師に開催されました。

遡って、2008 年 3 月 4 日から 6 日には、高山教区（当時）で「真宗大谷派ハンセン病問題全国交流集会」が開催され、台湾楽生院（旧日本統治下の療養所）からの参加者も含め、400 人を超える方にご参加いただきました。療養所の無い地域での交流集会は本山開催以外では初めてで、高山市議会からの賛同を得て、高山市民も参加しての開催となりました。

この集会の終わりには、「高山宣言」が採択されています。　《以下、「高山宣言」の後半を掲載》

真宗大谷派におけるハンセン病問題への取り組みは、「宗門あげて」と言いながらも、御門徒の皆さんと課題を共有しようという姿勢は弱かったように感じています。

高山集会では、開催に向けて、御門徒の皆さんとハンセン病問題を学ぶ場を開くよう努めてきました。また当日には、スタッフとしても多くの方が関わってくださり、回復者との新たな出会いが生まれました。僧分のものは「御門徒の皆さんと差別問題について考えるのは難しい」と思ってこなかったでしょうか。差別事件により真宗同朋会運動そのものが問われ、そこから再出発した歴史を、私たちは決して忘れないでいたいのです。

最終日には「ハンセン病隔離の歴史の中で亡くなられた全ての人をしのんで」とする追弔法要を営みました。真宗の法要は、過酷な状況のなかで生き抜かれた回復者や、その家族を「かわいそうな人」「救ってあげなくてはいけない人」とみなして勤めるものではありません。ともに生きるという精神を見失ってきた私たちに、故人は「人間に帰ろう」と呼びかけている。その声にどこまでも耳を傾けていくものです。亡くなられた方々は、私たちをして、お互いを尊敬すべき人間として見いだしていく道に立たしめてくれるのです。

隔離された人間も、隔離した人間もともに解放されていかなければ本当の解放ではありません。その願いを真摯に受け止め次の行動指針を提起します。

✧　ハンセン病問題基本法の制定を目指すとともに、基本法が名実ともにハンセン病問題の真の解決になるように社会に働きかけます。

✧　ハンセン病問題の取り組みを同朋会運動ととらえ、差別を超え、ともなるいのちの場を作り出します。

第7回　真宗大谷派ハンセン病問題全国交流集会 in 高山
2008年3月4日～6日

高山大会開催を契機に、高山市・下呂市・飛騨市の三市は、「ハンセン病問題基本法」（**※1**）の制定を請願する署名活動に賛同する団体に加わり、国に対して要望書を提出しています。

振り返って、昨年の公開学習会は、高山大会から 16 年を経て、改めて高山大会開催の意義を確かめる場ともなりました。その一つには、私たちがハンセン病問題に取り組んでいく出発点は“謝罪”であるということ。そして、宣言に示されるように、「同朋会運動としてのハンセン病問題」なのだということです。

このことは、「部落差別問題」や「是旃陀羅問題」をはじめ、宗門が関わってきた様々な問題にも言い当てられることではないでしょうか。

■ハンセン病問題の取り組みを同朋会運動ととらえる

真宗同朋会運動が提唱されてから、今年で 63 年がたちました。この運動が何たるのかを知る方途として、多くの資料や書籍が提供されていますが、それを読めば同朋会運動のことは理解できるのでしょうか。また、これまでも同朋会運動とは如何なるものかを確かめることができてきたのでしょうか。今日、大谷派が宗門存立の意義と掲げる同朋会運動について、共に語り確かめることが難しくなってきたように感じます。運動論の話はあったとしても、運動を、不安や苦悩を生きる人間のこととして感じ、共に確かめ合うということが、どれだけ私たちにあるでしょうか。ハンセン病問題をはじめとする差別の問題に関わることと、お寺で開かれる同朋会とは別々のこと、となってはいないでしょうか。

「センターだより」では、来月号より8回にわたり《「同朋会運動」としてのハンセン病問題－謝罪から共なる解放へ―》の講義及び対談の抄録を連載いたします。むしろ、宗門はハンセン病問題から問われているのだということが、親鸞聖人の明らかにされた本願念仏の教えと別ものではないということを、「同朋会運動としてのハンセン病問題」という視点で再確認してまいりたいと思います。

※1　2008 年 6 月 11 日に、「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律」として成立。
ハンセン病問題の解決の促進に関し、基本理念を定め、また国及び地方公共団体の責務を明らかにするとともに、ハンセン病問題の解決の促進に関し必要な事項を定める法律。

飛騨御坊真宗教化センター
耳なれすずめ

飛騨御坊真宗教化センター・高山別院　2025 年 10 月行事予定

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院・教区・組	会 場
1	水	14:00	セ 真宗公開講座（講師:四衢亮氏・三島大遵氏）	御坊会館
2	木	14:00	教 慶讃事業推進委員学習会	研修室
3	金	13:00 14:00/19:00	別 三日の御坊　小原正寛氏（専念寺住職） 教 第１回『御同朋を生きる』輪読会	本堂 研修室
4	土			
5	日	7:00	別 半日華	本堂
6	月			
7	火	19:00	セ 第１回 地区声明儀式作法研修（講師:窪田純氏）	御坊会館
8	水	19:00	セ 帰敬式推進室実行委員会	研修室
9	木			
10	金			
11	土	13:00	別 大谷婦人会定例　法話：三島多聞氏（輪番）	御坊会館
12	日			研修室
13	月	7:00	別 前住上人ご命日	本堂
14	火	18:30	組 高山２組組会	研修室
15	水	7:00	別 半日華	本堂
16	木	13:30	教 高山支部坊守研修会	研修室
17	金	19:00	セ 第２回 地区声明儀式作法研修（講師:窪田純氏）	御坊会館
18	土			
19	日	13:30	セ 帰敬式事前研修会①	本堂
20	月			
21	火	13:30	セ 帰敬式事前研修会②	本堂
22	水	13:30	組 高山２組坊守会	研修室
23	木	9:30	別 おみがき奉仕研修	本堂
24	金			
25	土	8:30	別 高山２組境内清掃奉仕	
26	日			
27	月	9:00 13:00 13:30	別 吉城組門徒会・大谷婦人会　清掃作業 別 御逮夜 教 教区坊守会役員会	 本堂 郡上協会
28	火	13:00 19:00	別 親鸞聖人御命日法話 中川唯真（岐阜高山教区駐在教導） セ 第３回　地区声明儀式作法研修（講師:窪田純氏）	本堂 御坊会館
29	水	19:00	教 教化研究所	研修室
30	木	7:00	別 一日華・華束盛	本堂
31	金			

2025 年 11 月　**※中旬までの掲載とし、定例行事は省きます。**

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院	日	曜	時間	ご坊センター・高山別院
1～3			別 高山別院報恩講	11	火	14:00	教 解放推進協議会輪読会
3	月	15:00	セ 子ども報恩講				